

## 小樽市教育研究所報

環 流



第189号 令和6年6月28日

## &lt;目 次&gt;

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 巻頭言               | .....P1 |
| 所蔵資料の紹介           | .....P1 |
| 教育研究所の活動について      | .....P2 |
| 調査研究活動事業の研究指定校・団体 | .....P3 |
| 初任者紹介             | .....P4 |

## 「学 び 続 け る」



小樽市教育研究所副所長 谷 口 剛  
(小樽市教育委員会学校教育支援室長)

昨年度から、小樽市教育研究所副所長の任を仰せ付かっております。昭和24年に創設され75年もの歴史がある教育研究所の様々な事業が一層推進されるよう、微力ながら尽力して参りますので、よろしくお願いいたします。

さて、社会の在り方が、劇的に変わる「Society5.0時代」が到来し、新型コロナウイルス感染症の流行など予測が困難な時代において、学校は、子どもが主体的に考え自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成することが求められております。

そのためには、我々が学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、子ども一人一人のよさを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たすために、研究と修養に努め続けることが重要となります。

今後、小樽市教育研究所を活用して、1人の100歩ではなく100人の1歩により、本市の子どもたちの確かな学びと心身の健やかな成長を目指す教育が推進されますことを願っております。

## 研究所所蔵の研究図書・研究資料

研究所では、所蔵の図書や資料を紹介した「教育研究資料目録13集」を作成し、4月に各学校に1冊ずつ配りました。「教育研究資料目録」は、3年に1度のペースで作成していて、今回作成した13集は、令和3年から令和5年までに購入した図書と、収集した研究紀要や研究集録などの資料を載せています。そこに載っている図書や資料は貸出できます。直接、研究所に来て借りることができますが、電話で問い合わせることもできます。たくさんの方に活用してほしいと思っています。

また、毎年、その年度の集録等に収められている指導案データの一覧も、各学校にメールでデータ送信していますので、併せて活用願います。

## 令和6年度 小樽市教育研究所の活動について

新年度最初の所報を発刊するにあたり、改めて小樽市教育研究所の活動の概要について紹介いたします。教育研究所の業務内容は、「教職員研修に係ること」「教育活動に係ること」「教育相談に係ること」の3つに大きく分けられています。

### 教育研究の推進

小樽市教育研究所は、研究員6名の協力を得ながら第13次研究3年次目をスタートしました。全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげるよう、これまでの研究の成果と課題を基に、研究主題の追究と小樽の児童生徒への効果的な指導の在り方の研究を進めています。

#### <本年度の研究員>

佐藤 充 教諭(奥沢小学校)、八柳圭介 教諭(松ヶ枝中学校)、寺下剛史 教諭(花園小学校)  
佐藤 冴 教諭(西陵中学校)、柴田まみ 教諭(潮見台小学校)、村田あゆみ教諭(手宮中央小学校)

### 研修講座の開催(予定)

- ふるさと教育研修講座「小樽の歴史」の活用について オンデマンドによる配信を予定
- 環境教育研修講座「おたるの自然」デジタル版の活用について 夏休み中に予定
- 第13次研究検証授業 11～12月頃予定

### 社会科副読本、理科教材、歴史教材について

「わたしたちの小樽」は6・7年用を配布済です。  
「小樽の歴史」は年度当初に5年生に配布済ですが、今年度、一部改訂する予定で計画を進めています。  
「おたるの自然」冊子版は学校備え付けです。デジタル版は1人1台端末で見ることができます。

### 学力調査について

標準学力調査は4月に市内全小中学校の、小3・小5・中2で実施しました。各学校では、結果を分析して今後の指導に活かしてほしいと思います。

### 教育相談活動の実施

- 小中学生と保護者を対象に相談活動(面接・電話・メール)を行い、関係機関と連携を図りながら相談者に寄り添った対応に努めています。
- 来所相談・電話相談：22-4812  
(月曜日～金曜日：午前8時50分～午後5時20分)
- 教育相談メール：  
kyoiku-sodan@city.otaru.lg.jp
- スクールソーシャルワーカー(SSW)が学校、家庭、関係機関と連携・協力し、子どもの置かれている環境の改善等に向けた活動を行います。

### 教育研究所職員

|                                                           |                        |
|-----------------------------------------------------------|------------------------|
| 所 長                                                       | 鈴木 健 介(教育部長)           |
| 副所長                                                       | 谷 口 剛(学校教育支援室長)        |
| 主 幹                                                       | 菊 野 幸 治(学校教育支援室指導G主幹)  |
| 主 査                                                       | 平口山 立 治(学校教育支援室指導G主査)  |
| 主 査                                                       | 深 田 友 和(教育総務課総務係長)     |
| 所 員                                                       | 高 橋 ありさ(教育総務課総務係)      |
| 所 員                                                       | 藤 原 博 貴(教育総務課総務係)      |
| 所 員                                                       | 藤 崎 淳                  |
| 所 員                                                       | 井 村 文 俊                |
| 所 員                                                       | 岡 田 雅 彦(スクールソーシャルワーカー) |
| ※スクールソーシャルワーカー(SSW)の勤務は、月・水・金11:15～17:00、火・木9:15～15:00です。 |                        |

## 令和6年度 調査研究活動事業 研究校・研究団体を紹介します

小樽市教育研究所では、今年度15校6団体を研究校・研究団体に指定し、各学校・団体の研究活動の奨励・推進の支援に取り組みます。研修発表会を開催し、研究内容の交流を行います。年度末には研究集録を作成し、取組内容や成果、課題等をまとめます。

| 学 校 名  | 指 定 | 学 校 の 研 究 主 題                                                |
|--------|-----|--------------------------------------------------------------|
| 稲穂小学校  | 推進校 | 主体的に学びだす稲穂の子ども<br>～伴奏する教師の関わり方を工夫して～                         |
| 花園小学校  | 推進校 | 自ら意欲的に学び、互いのよさを認め合う子どもの育成<br>～算数科を中心に「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり～   |
| 山の手小学校 | 推進校 | 主体的に学びをつなぐ子どもの育成<br>～主体的・対話的で深い学びの実現を通して～                    |
| 潮見台小学校 | 推進校 | 自ら学び、豊かに伝え合う子どもの育成 ～「どうして」「どうやって」を考え、伝え合う「算数科」の指導の工夫を通して～    |
| 桜小学校   | 推進校 | ともに学び、深く考える子どもの育成<br>～個別最適な学び・協働的な学びを通して～                    |
| 望洋台小学校 | 推進校 | 自ら学び ともに高め合う 子どもの育成 ～マストアイテムとした1人1台端末を活用した子ども主体の学びを通して～      |
| 桂岡小学校  | 推進校 | 健康の保持推進を目指し、自らが生き生きと学ぶ子どもの育成<br>～体育・食育における指導方法の工夫を通して～       |
| 銭函小学校  | 推進校 | 主体的に学び、伝え合う子どもの育成 ～「分かった」「できた」「楽しい」が実感できる算数科の授業づくりを通して～      |
| 西陵中学校  | 推進校 | 生徒の主体性を育み「わかる・楽しい」を実感させる授業の創造<br>～「個別最適な学び」と「探究的な学び」の実践を通して～ |
| 菁園中学校  | 推進校 | 主体的に学習に取り組む生徒の育成<br>～見方・考え方を働かせ、探究する学習活動を通して～                |
| 高島小学校  | 交流校 | 一人一人が主役 自ら学ぶ子どもの育成<br>～見方・考え方を働かせた深い学びを実現する授業づくり～            |
| 奥沢小学校  | 交流校 | 主体的に学び、確かな力を実感できる子どもの育成<br>～安心して学び合える授業づくりを通して～              |
| 北陵中学校  | 交流校 | 見方考え方を働かせながら、主体的に学ぶ生徒の育成<br>～学びに向かう力につながる「振り返り」の指導を通して～      |
| 望洋台中学校 | 交流校 | 生徒が見方・考え方を働かせ、学びを実感する授業づくり<br>～学びの深まりが実感できる教育活動の創造～          |
| 朝里中学校  | 交流校 | 子どもが主語の学校を目指した教育の在り方<br>～心理的安全性を土台とした「教え（すぎ）ない授業」の実践～        |

| 研 究 団 体 名     | 指 定  | 研 究 団 体 の 研 究 主 題                                                                                 |
|---------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小樽市算数数学教育会    | 推進団体 | 未来社会を切り拓く力を育む算数・数学教育の探究<br>～主体的・対話的で深い学びの実践を通して～                                                  |
| 小樽市社会科教育研究会   | 交流団体 | 郷土に夢と誇りをもち 未来を拓く子どもの育成<br>～地域とのかかわりの中で、自らの課題を追究し主体的・対話的に学びつづける子どもを求めて～                            |
| 小樽市複式教育研究会    | 交流団体 | 主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを切り拓く子どもの育成<br>～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に未来に生きる力を育む学校・学級経営と学習指導の充実を目指して～ |
| 後志道德教育研究会小樽支部 | 交流団体 | 豊かな関わりを通して、よりよく生きる児童・生徒の育成<br>～考え・議論する道德科の授業を通して～                                                 |
| 小樽市学校体育研究会    | 交流団体 | 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた体育活動の創造                                                                        |
| 小樽英語教育研究会     | 交流団体 | 情報を整理しながら考えを形成し、英語で表現し、伝え合う児童生徒の育成<br>～個別最適で協働的な学び～                                               |

**<令和6年度 新任者紹介・その1>** 今年度新たに採用された市内の6名を紹介します。今回紹介できなかった方は、次回に紹介いたします。



小樽市立西陵中学校 教諭 松澤 壱 彩

今年度から新採用として赴任しました。右も左もわからず、ご迷惑をおかけしている毎日ではありますが、西陵中の温かい先生方に助けていただきながら、さらに、生徒との日々のかかわりからエネルギーを貰い、気づけばこの2カ月を乗り切ることができました。一日でも早く学校組織の一員となり、生徒からも信頼される教員となれるよう、日々精進していきたいと思います。よろしくお願いいたします。



小樽市立花園小学校 教諭 難波 莉 久

4月から小樽市立花園小学校に着任しました。5年生の担任として、この2ヶ月間は新しい学びと反省の日々でしたが、先生方に支えていただきながら、乗り越えることができました。少しずつ職務にも慣れ、充実した毎日を送っています。子どもたちが安心して学ぶことのできる環境をつくっていくために、先生や保護者、地域の方とのコミュニケーションを大切にし、信頼される教師になれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



小樽市立山の手小学校 教諭 佐々木 由 貴

今年度より新採用として着任いたしました。生まれ育った小樽市の教育に携わることができ、とても嬉しく思います。2年生を担当し、2か月が経ちました。初めて経験することばかりで戸惑うことも多いですが、先生方に多くのご指導をいただき、充実した毎日を送っています。学ぶ姿勢を忘れずに、子どもたちが安心して充実した学校生活を送れるよう尽力してまいります。これからよろしくお願いいたします。



小樽市立菁園中学校 教諭 瓜 生 太 知

今年度より新採用として小樽市立菁園中学校に着任しました。小樽という地での生活や菁園中の先生方・子どもたちとの出会いなど初めての体験ばかりの日々ですが、とても充実した時間を過ごしています。先輩の先生方や子どもたちとたくさん関わり、いろいろなことを教えてもらいながら一人の教員として成長していきたいと思っています。これからよろしくお願いいたします。



小樽市立稲穂小学校 教諭 河 邊 実 優

新採用として小樽市立稲穂小学校に着任しました。初めて経験することばかりですが、温かく支えて下さる職場環境の中で、充実した毎日を送ることができています。子どもたちの「できた」「分かった」という声を聞くことが、明日への活力になっています。地元小樽の教員になれた喜びを忘れず、子ども一人一人のよさを見つけ、温かい学級づくりを目指して頑張っていきたいと思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。



小樽市立長橋小学校 教諭 佐 藤 昌 俊

目が回るような毎日であり、あっという間に過ぎた2か月間でした。うまくいかないことばかりであり、気持ちが落ち込む時たくさんありました。しかし、つい先日終わった運動会にて、児童の「頑張っている姿・成長した姿」を見ることができた時、教員になってよかったと感じました。児童のために何ができるのかを考え、児童と共に私自身も一緒に「成長」する1年間となれるように、精一杯頑張っていきたいと思います。